

大分工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	実験実習Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	R02C213		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	4	
教科書/教材	(教科書) 測量実習:「測量」実教出版, 実習指導書 (配布プリント) / 情報処理演習 (前期) 配布プリント (後期): 富士通エフ・オー・エム株式会社 (FOM出版), 「情報リテラシー <改訂版> Windows 10・Office 2016対応」, FOM出版 / (参考図書) 指定しない				
担当教員	田中 孝典,工藤 宗治,永家 忠司				
到達目標					
(1) 正しい使用方法に基づく測量機器の取扱いおよび測定ができる。(レポート) (2) 測定結果に基づく正確な測量計算ができる。(レポート) (3) 2次元CADの操作ができ, 簡単な製図をCADを用いて描くことができる。(レポート・取り組み状況) (4) PowerPointの基本操作ができ, スライド資料を作成して発表することができる。(レポート・取り組み状況) (5) 情報セキュリティと情報モラルの知識を一年次よりも深めることができる。(レポート・取り組み状況)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
距離測量と角測量	距離測量および角測量について理解し, 器具を使って決められた誤差範囲内に測量できる.		距離測量および角測量について理解し, 器具を使って測量できる.		距離測量および角測量について理解できない.
水準測量	水準測量について理解し, 決められた誤差範囲内に測量できる.		水準測量について理解し, 測量できる.		水準測量について理解できない.
考察・レポート作成	実験実習で得られたデータの妥当性について考察すると共に, さらに意味のあるデータに加工できる.		実験実習の目的に沿って得られたデータを用いて表・グラフを作成し, 論理的な考察ができる.		実験実習の目的について理解できていない. また, データや結果について適切な考察ができていない.
実験・実習に関わる態度	実験実習における自身の役割を理解し, 相互に協力あるいは周囲を率先して作業に取り組むことができる.		実験実習の基本的なルールに則り, 主体的に取り組むことができる. また, レポートを期限内に提出できる.		実験実習のルールについて理解が乏しく, 主体的に取り組むことができない. また, レポートの作成・提出が滞る.
情報リテラシー (PowerPoint)	PowerPoint 2016の基本操作ができ, スライド資料を作成して発表することができる.		PowerPointの基本操作ができる.		PowerPointの基本操作ができない.
情報セキュリティ・情報モラル	情報セキュリティ・情報モラルに関する理解を一年次よりも深められる.		情報セキュリティ・情報モラルを理解できる.		情報セキュリティ・情報モラルを理解できない.
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (D1) 学習・教育目標 (D2)					
教育方法等					
概要	(1) 測量実習では, 測量機器の使用法を習得するとともに, 測量学で受講した知識をもとに基礎的な測量技術を身に付ける. また, 必要となる計算の方法について習熟する. (2) 情報処理演習 (前期) では, 主としてCADを行う. 2次元CADソフトを用いて, 作図方法、レイヤー管理の方法を理解し, 製図の描き方を習得する. (3) 情報処理演習 (後期) では, 実験実習Ⅰ (情報処理) の継続として「情報セキュリティと情報モラルの知識」と「PowerPointの基本的な操作方法」を習得する. なお, 本実習は, アグリエンジニアリング (AE) 教育及び災害レジリエントマインド (RM) 教育の対応科目である. (科目情報) 授業時間78時間 実践的教育科目 / AE科目 / RM科目				
授業の進め方・方法	20名からなる2グループに分けて, 測量実習と情報処理演習を行う. ・測量実習は, 外業および内業の実習を行い, 各テーマについてレポートを作成する. ・情報処理演習 (前期) では, 情報演習室にて「CAD」の演習を実施する. 状況に応じてレポートを課すことがある. ・情報処理演習 (後期) は, 情報演習室にて「情報セキュリティと情報モラル」と「PowerPoint」の演習を実施する. 状況に応じてレポートを課すことがある. (各実験の評価について) レポートおよび取組み状況で評価する. 全ての課題・レポートが提出 (受理) されていれば下式のように評価するが, 提出 (受理) されていない課題・レポートがある場合は不合格とする. 測量実習評価 = (測量レポートのみ) ※取組み状況はレポートに含まれる. 情報処理演習 (前期) 評価 = (CAD課題・レポート) ×0.8 + (取組み状況) ×0.2 情報処理演習 (後期) 評価 = (演習課題・レポート) ×0.8 + (取組み状況) ×0.2 総合評価 = (2×測量実習評価+情報処理演習 (前期) 評価+情報処理演習 (後期) 評価) / 4 総合評価が60点以上を合格とする. (再試験について) 再試験は行なわない.				
注意点	(履修上の注意) 測量器械・コンピュータの扱いに注意し, 使用後の整理整頓を行うこと. 測量実習では外業が多いので, 道具や各自の持ち物の管理に細心の注意を払うこと. 情報処理演習ではパスワードの管理を徹底すること. また, 実験実習に欠席した場合は担当教員に補習等の指示を必ず受けにくること. 未提出の課題・レポートがある場合は, 総合評価を不合格とする. (自学上の注意) レポートにおいては, 教科書をよく読んで授業内容をしっかりと復習したうえで作成すること. 特に, 考察部分ではこの点に期待する.				
評価					

授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	安全教育 ガイダンスと距離測量（測量実習）	安全に学習をするための知識を理解できる。 測距の方法と補正計算を理解できる。
		2週	セオドライトの据付と視準（測量実習） CADの概念と操作①（情報処理演習）	セオドライトを正確に据付け、正確な角度測定を行うことができる。 図面・C A Dについて理解できる。
		3週	セオドライトの据付と視準（測量実習） CADの概念と操作①（情報処理演習）	セオドライトを正確に据付け、正確な角度測定を行うことができる。 図面・C A Dについて理解できる。
		4週	単測法による測角（測量実習） CADの概念と操作②（情報処理演習）	セオドライトを正確に据付け、正確な角度測定を行うことができる。 基本図形の描画ができる。
		5週	単測法による測角（測量実習） CADの概念と操作②（情報処理演習）	セオドライトを正確に据付け、正確な角度測定を行うことができる。 基本図形の描画ができる。
		6週	単測法による内角の測定（測量実習） JW-CADによる製図模写①（情報処理演習）	セオドライトを正確に据付け、正確な角度測定を行うことができる。 線種の変更・レイヤー管理ができる。
		7週	単測法による内角の測定（測量実習） JW-CADによる製図模写①（情報処理演習）	セオドライトを正確に据付け、正確な角度測定を行うことができる。 線種の変更・レイヤー管理ができる。
		8週	トラバース測量（測量実習） JW-CADによる製図模写②（情報処理演習）	トラバース測量の座標の概念を理解し、座標計算および誤差の補正計算が理解できる。 図形処理ができる。
	2ndQ	9週	トラバース測量（測量実習） JW-CADによる製図模写②（情報処理演習）	トラバース測量の座標の概念を理解し、座標計算および誤差の補正計算が理解できる。 図形処理ができる。
		10週	トラバース測量の座標計算（測量実習） JW-CADによる製図模写③（情報処理演習）	トラバース測量の座標の概念を理解し、座標計算および誤差の補正計算が理解できる。 図形処理ができる。
		11週	トラバース測量の座標計算（測量実習） JW-CADによる製図模写③（情報処理演習）	トラバース測量の座標の概念を理解し、座標計算および誤差の補正計算が理解できる。 図形処理ができる。
		12週	トラバース測量の調整計算（測量実習） JW-CADによる製図模写④（情報処理演習）	トラバース測量の座標の概念を理解し、座標計算および誤差の補正計算が理解できる。 図面・報告書の作成ができる。図面の印刷ができる。
		13週	トラバース測量の調整計算（測量実習） JW-CADによる製図模写④（情報処理演習）	トラバース測量の座標の概念を理解し、座標計算および誤差の補正計算が理解できる。 図面・報告書の作成ができる。図面の印刷ができる。
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週	ガイダンスと平板測量（すえつけと放射法）（測量実習）	情報処理演習のガイダンスの内容を理解できる。 平板測量の手順に習熟し作図結果の精度を計算できる。
		2週	平板測量（前方交会法）（測量実習） 教科書を用いた情報セキュリティ・情報モラルの演習（情報処理）	平板測量の手順に習熟し作図結果の精度を計算できる。 1年次に学んだ情報セキュリティ・情報モラルの理解を深められる。
		3週	平板測量（前方交会法）（測量実習） 教科書を用いた情報セキュリティ・情報モラルの演習（情報処理）	平板測量の手順に習熟し作図結果の精度を計算できる。 1年次に学んだ情報セキュリティ・情報モラルの理解を深められる。
		4週	平板測量（道線法）（測量実習） K-SEC教材を用いた情報セキュリティ・情報モラルの演習（情報処理）	平板測量の手順に習熟し作図結果の精度を計算できる。 1年次に学んだ情報セキュリティ・情報モラルの理解を深められる。
		5週	平板測量（道線法）（測量実習） K-SEC教材を用いた情報セキュリティ・情報モラルの演習（情報処理）	平板測量の手順に習熟し作図結果の精度を計算できる。 1年次に学んだ情報セキュリティ・情報モラルの理解を深められる。
		6週	平板測量（オフセット）（測量実習） PowerPoint演習（情報処理）	細部測量の結果により建物の形状を図面上に明記できる。 PowerPointの基本操作ができる。
		7週	平板測量（オフセット）（測量実習） PowerPoint演習（情報処理）	細部測量の結果により建物の形状を図面上に明記できる。 PowerPointの基本操作ができる。
		8週	水準測量（レベルの据付）（測量実習） PowerPoint総合課題：スライド作成（情報処理）	水準測量における昇降式と器高式の手順を理解し、必要な調整計算が理解できる。 PowerPointを用いて総合課題のスライドを作成する。
	4thQ	9週	〔後期中間試験〕	
		10週	水準測量（レベルの据付）（測量実習） PowerPoint総合課題：スライド作成（情報処理）	水準測量における昇降式と器高式の手順を理解し、必要な調整計算が理解できる。 PowerPointを用いて総合課題のスライドを作成する。
		11週	水準測量（昇降式）（測量実習） PowerPoint総合課題：スライド作成（情報処理）	水準測量における昇降式と器高式の手順を理解し、必要な調整計算が理解できる。 PowerPointを用いて総合課題のスライドを作成する。
		12週	水準測量（昇降式）（測量実習） PowerPoint総合課題：スライド作成（情報処理）	水準測量における昇降式と器高式の手順を理解し、必要な調整計算が理解できる。 PowerPointを用いて総合課題のスライドを作成する。

		13週	水準測量（器高式）（測量実習） PowerPoint総合課題：発表（情報処理）	水準測量における昇降式と器高式の手順を理解し，必要な調整計算が理解できる。 PowerPointを用いてプレゼンテーションができる。
		14週	水準測量（器高式）（測量実習） PowerPoint総合課題：発表（情報処理）	水準測量における昇降式と器高式の手順を理解し，必要な調整計算が理解できる。 PowerPointを用いてプレゼンテーションができる。
		15週	〔後期期末試験〕	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14
				レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後10,後11,後12,後13,後14

専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	製図	CADソフトウェアの機能を説明できる。	4		
				図形要素の作成と修正について、説明できる。	4		
				画層の管理を説明できる。	4		
	分野別の工学実験・実習能力	建設系分野【実験・実習能力】	建設系【実験実習】	距離測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	前1	
				トラバース測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	前8,前10,前11,前12,前13,前14	
				水準測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	後8,後10,後11,後12,後13,後14	
				セオドライトによる角測量について理解し、器具を使って測量できる。	4	前2,前3,前4,前5,前6,前7	
評価割合							
	試験	レポート	小テスト	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	20	0	0	20
専門的能力	0	80	0	0	0	0	80
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0